

市議会だより

大室山

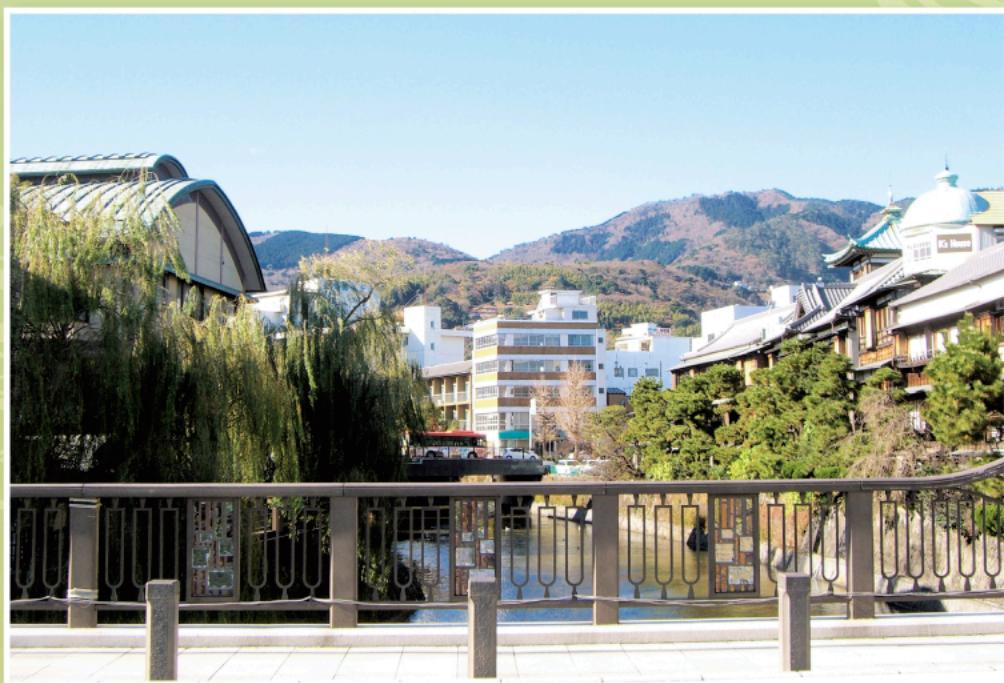
小室山



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。



年代不明(昭和前期と推測される絵はがき)



平成28年12月

主な内容

- 12月定例会の概要 【P. 2】 ○常任委員会だより 【P.10】
- 一般質問（8議員が登壇） 【P. 5】 ○常任委員会行政視察 【P.12】



平成28年12月定例会

21件の議案等を審議、決定

12月定例会を12月1日から12月13日までの13日間の会期で開会しました。

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市議第23号	伊東市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行により、人事行政の運営の状況について、任命権者が地方公共団体の長に對して報告すべき事項に退職管理に係る事項が追加されたこと等に伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第24号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成28年人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じて、一般職の職員の給料表を平均0.2%引き上げ、勤勉手当の支給月数を0.1月引き上げる条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第25号	伊東市職員等退職手当支給条例の一部を改正する条例	雇用保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、国家公務員退職手当法が改正され、新たに「高年齢被保険者」及び「求職活動支援費」が定義づけられたこと等による条例改正	市長	全会一致で可決
市議第26号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	日本と台湾との間で二重課税を回避するなどの措置を講じるため、日台民間租税取決めが締結されたことを受け、所得税法等の一部を改正する法律による外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律が施行され、申告分離課税の区分が設けられることに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第27号	伊東市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び伊東市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う介護保険法の改正により、地域密着型通所介護（定員18人以下のデイサービス）が創設され、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等が改正されたことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第28号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	所得税法等の一部を改正する法律及び地方税法施行令等の一部を改正する等の政令の施行により、国民健康保険税の被保険者間の負担の公平化を図るため、賦課限度額が改正されたことに伴い、賦課限度額を基礎課税額は52万円から54万円に、後期高齢者支援金等課税額は17万円から19万円に改め、また、住民税の課税の特例として分離課税となる特例適用利子等の額及び特例適用配当等の額を国民健康保険税の所得割の算定や軽減判定に用いる総所得金額に含める規定を整備する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第29号	伊東市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	病院機能の充実を図るために、形成外科を新設するとともに、地域医療支援病院の指定を目指し、市内医療機関との役割分担と連携をさらに推進するため、特定初診料の上限を1,000円から3,000円に改定する条例改正	市長	全会一致で可決

市議会だより

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市議第30号	伊東市健康福祉センター（健康福祉施設）及び桜木デイサービスセンターの指定管理者の指定について	社会福祉法人伊東市社会福祉協議会を指定 指定の期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	市長	全会一致で可決
市議第31号	伊東市介護予防拠点施設の指定管理者の指定について		市長	全会一致で可決
市議第32号	平成28年度伊東市一般会計補正予算（第3号）	環境美化センター更新改良整備事業等の起債の償還に備えるため減債基金積立金を計上するほか、不足が見込まれる障害者自立支援給付費や私立保育園関係経費など10億9,525万5,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第33号	平成28年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	湯川終末処理場歩道橋の修繕工事請負費1,584万8,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第34号	平成28年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第1号）	勝者投票払戻金や場外車券売上手数料などを追加するとともに、競輪施設改善基金への積立金の増額など32億7,623万円の追加	市長	全会一致で可決
市議第35号	平成28年度伊東市靈園事業特別会計補正予算（第1号）	靈園整備基金への積立金など1,448万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第36号	平成28年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	不足が見込まれる住宅介護サービス給付費や施設介護サービス給付費など4億2,720万円の追加	市長	全会一致で可決
市議第37号	平成28年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	後期高齢者医療広域連合に対する療養給付費負担金など9,080万1,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第38号	平成28年度伊東市水道事業会計補正予算（第1号）	給与改定及び大船渡市への職員派遣に伴う収益的支出512万8,000円の増額及び配水池建設用地取得に伴う資本的支出2,001万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市諭第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	丸井重孝氏（川奈）再任	市長	全会一致で推薦に同意
市諭第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	山口早苗氏（富戸）再任	市長	全会一致で推薦に同意
発選第9号	駿東伊豆消防組合議会議員補欠選挙	駿東伊豆消防組合議会議員の伊東市定数3名のうち1名に欠員が生じたことに伴う補欠選挙。中島弘道議員が当選	一	一
発議第13号	地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（防災）、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第14号	安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、一億総活躍担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決

(概要)

<p>人事院勧告は、国家公務員の年収・所得の実態調査を行わず、人事院勧告に委ねるという考え方を改めるべきである。</p>	<p>私は、平成二十六年以来、人事院勧告に伴う職員の給与引き上げ改定に反対してきたが、今回は反対理由に少しつけ加えをする。</p> <p>市職員の給与のあり方を考える時、市民の年収や所得水準をしつかりと捉え、それを参考にしていくことは、当然である。</p> <p>しかし、当局の答弁では、「本市には人事委員会のような調査権限がないため、労働賃金調査等による年収等の把握は難しいところもある」とのことから、基本的に人事院勧告に合わせているといふ。しかし、市職員の給与水準を決める上で、市民の年収・所得の実態調査を行わずに、人事院勧告に委ねるという考え方は改めるべきである。</p>	<p>伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例</p> <p>〔反対〕杉本一彦議員</p>
--	---	---

員と民間の給与水準を均衡させる目的であるが、現在の市内経済や市民生活の実態を考慮すれば、人事院勧告に合わせ、その都度、増額する必要はない。

国が示す「働き方改革」の観点からも、公務員と市民の間の賃金格差の是正は重要課題になると考える。また、本市職員の正規・非正規職員の賃金格差を埋めていかなくてはいけないという方向性からも逸脱する。以上の理由から、本改正は市民の理解は得られないものと考え、反対する。

伊東市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

《賛成》日本共産党

形成外科については、病院建設時に計画されていた診療科目の一つであり、常勤医師が確保できたことで新設されることは喜ばしい。特定初診料については、「かかりつけ医」の推進が目的で、現行一〇〇〇円を三〇〇〇円に引き上げると説明があった。この目的が

※会派構成議員～佐藤龍彦議員、◎重岡秀子議員（議席順、◎=会派代表者）

市民に十分理解されなければ、単に市民病院の医療費が高くなつたという印象しか与えない懸念がある。

市民病院の現状は、軽度な症状での受診も多く、待ち時間短縮も実現できていない、医師不足から、外来診療が延びると入院患者の治療に影響が出る、市内では市民病院のみが二四時間体制の救急医療を行っているため、医師・看護師等の勤務状況は厳しいと聞く。勤務状況は厳しいと聞く。軽症患者が身近な診療所などで受診する「かかりつけ医」の推進が、これら課題の解決には重要である。あわせて、市民病院や地域医療の実態を正しく知り、市民病院における医療充実のための市民の意識変革、すなわち、受け身ではなく、市民みずから医療を守るために努力・協力が必要である。

よって、特定初診料の引き上げに際しては、繰り返し丁寧に「かかりつけ医」の重要性を周知し、病診連携をさらに推進することを期待し、本改正に賛成する。

公職選挙法に基づく政治家の

みんなで徹底しよう 三ない運動

秘書等が代理で出席する場合の結婚祝



地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入



お祭りへの寄附・差入



町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入



みんなで徹底しよう
三ない運動

贈らない!

求めない! 受け取らない!

これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。

落成式・開店祝等の花輪



お歳暮・お年賀



病気見舞



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・供花



秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典



総務省HPより

(詳しくはhttp://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.htmlをごらんください)

一般質問

8議員が登壇/市政全般について質問

(登壇順に掲載)

**伊東マリンタウンの運営
に関し、交通渋滞対策及
び津波避難計画を伺う**



自民・糸
中島弘道議員

市長
渋滞対策は、周辺施設の動
向も含め検討していく。ま
た、マリンタウンでは、地
震防災応急計画に基づき年
二回訓練を実施している

伊東マリンタウンに起因する交通渋滞は連休に限らず上下車線で発生している。また、周辺に大型商業施設が開業予定と聞いており、さらなる渋滞が予想されるが、現在使用している臨時駐車場だけでは不足するため、今後の対策を伺う。

また、伊東マリンタウンは海に近く、多くの来場者が滞在することから、地震発生時の津波に対する避難計画について伺う。



正月のマリンタウン入口の様子

渋滞対策については、隣接市有地を臨時駐車場とし、駐車場の拡大を図ることも商業施設の動向も注視する中で検討する必要があると考えている。

また、津波対策については、伊東マリンタウンが策定している地震防災応急計画に基づき、毎年三月と九月に社員やテナント従業員を対象に訓練を実施し、来遊客の誘導及び避難ルートの確認を行っている。

また、県の道の駅防災拠点化事業として、津波注意喚起看板や避難経路表示サイン等を設置するとともに、情報提供大型モニターや非常放送設備を整備している。

【その他の質問】五項目

**大平の森について、安全
管理を含めた今後の整備
方針及び計画を伺う**



公明党
篠原峰子議員

大平の森については、開園から一五年ほどが経過し、林道の舗装が傷み、ウオーキングコース上のベンチや木柵等の一部に腐食や破損等が認められることから、現地観察をして、平成二十七年度に階段の補修及び木柵の撤去等を行い、今年度は林道の補修を実施した。

今後も、公園全体の安全点検を実施し、現場の状況を確認する中で、自然環境に配慮した修繕を計画的に行うなど、多くの方々に公園を訪れていただけるような、魅力的な環境づくりを進めていく。

【その他の質問】二項目



大平の森案内図

大平の森については、開園から一五年ほどが経過し、林道の舗装が傷み、ウオーキングコース上のベンチや木柵等の一部に腐食や破損等が認められることから、現地観察をして、平成二十七年度に階段の補修及び木柵の撤去等を行い、今年度は林道の補修を実施した。

市長
自然環境に配慮した修繕を
計画的に行う

そこで、公園全体の安全管理面を含め、大平の森ハイキングコースにつながる森林公園として改善、整備が必要と考えるが、今後の整備方針及び計画を伺う。

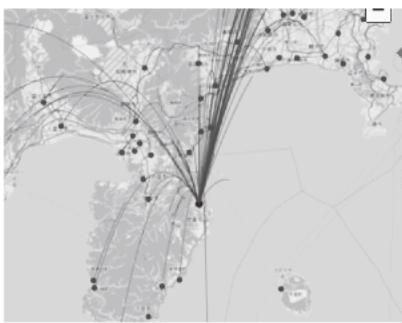
今後も、公園全体の安全点検を実施し、現場の状況を確認する中で、自然環境に配慮した修繕を計画的に行うなど、多くの方々に公園を訪れていただけるような、魅力的な環境づくりを進めていく。

統計データの市政への活用に
関し、本市の市内経済計算について伺う



民進クラブ
四宮和彦議員

市長
製造業が少なく、不動産業
及びサービス業が多い



観光マップ：FROM-TO分析（滞在人口）

統計データ分析を行うと意外な事実が視覚化されることがある。GDP同様、地方自治体においても域内総生産という経済計算指標があり、毎年、各都道府県において集計、公表されている。現在公表されている本県の最新指標は、平成二五年度のものであり、社会的な変動が激しい昨今、よりリアルタイムに公表されることが望まれるが、本市における最新の市内経済計算の年度、その数値に基づく市内総生産及び産業構造上の特徴を伺う。

第三次産業が一八〇九億一六〇〇万円、その他が一六億三四〇〇万円である。

また、産業別に見た場合の特徴は、県内市町の平均と比較した場合、製造業の割合が著しく少なく、不動産業及びサービス業の割合が多い。この傾向は、伊豆半島市町全体にあらわれている。

『その他の質問』一〇項目

以前の浅田議員の一般質問において、成年後見制度に関する対策は理解した。しかし、それらは主に、実際に認知症が進行した後の対策であつたが、むしろ、現在判断能力があり、成年後見制度を全然関係ないと思っている方々に積極的にアプローチすることが必要ではないかと考える。

任意後見制度の存在や法定後見制度との相違点等を含め、判断能力があるうちに慎重に考えていただき、家族で話し合つたりすることも重要であると考える。

そのためにも、判断能力があるうちから本制度を身近なこととして認識してもらえるような取り組みをしていくべきと考えるが、い

本市を含め県内市町では、独自に市内経済計算を作成しておらず、県が作成した平成二五年度の推計によると、市内総生産はおおむね一九九七億一五〇〇万円であり、第一次産業が一四億五〇〇〇万円、第二次産業が一五七億一五〇〇万円、

成年後見制度に係る広報活動について伺う



自民・糸
青木敬博議員

かがか。
市長

成年後見制度の重要性は十分認識しているところであります。制度普及を目的とした周知については、市内五圏域に設置している地域包括支援センターを通じての個別相談や情報提供のほか、パンフレット等も作成しPRに努めているところである。さらに、本年度中に広報いとうで二回の記事を掲載するほか、高齢者や障害者施設への啓発を行うなど、引き続き積極的に制度の周知に努めていく。

全国の自治体が移住施策に取り組んでいるが、本市は既に滞在型の健康保養地というルーツがあり、観光とともに発展してきた「移住のまち」といえる。しかし、黙ついていても移住者が来る時代ではなく、このようないよさを最大限生かすまちづくりが急務であると考える。

『その他の質問』三項目



成年後見制度（イメージ）

移住者の多い本市のまちづくりにおける移住施策について伺う



日本共産党
重岡秀子議員

中高年の移住者の増加は高齢化が進み、医療や介護の負担がふえるという意見もある。しかし、移住の経済効果やまちづくりに果たす役割はデータや資料に基づく、客観的、総合的な検証が必要と考えることから、平成二八年に立ち上げた市の「移住促進連絡会議」の

活動について伺う。

市長

高齢者に係る交通事故防 止対策について伺う

市長
関係機関と連携し、周知及
び啓発を図つていく

「全日本まくら投げ大会」 について伺う

市長
すすめ」を基本に、温泉情
緒を醸し出す浴衣の着用や、
戦略性を高めるために防御
専門の「リベロ」を採用す
るなど、観客も楽しむこと
ができるよう工夫している。
その結果、多くのメディ
アにも取り上げられ、本市
のイメージアップが図られ
るとともに、毎回参加チー
ムが増加し、前回からは予
選リーグと決勝トーナメン
トの二日間での開催とした
ことにより、宿泊者の増加
にも寄与している。



公明党
鳥居康子議員

新年度予算の中で、本市な
らではの移住策をまとめる
移住促進連絡会議では、
移住・定住に関し、現在、
本市で取り組んでいる施策
や、今後、新規あるいは拡
充して取り組む施策につい
て、「就業、住居、子育て、
教育、医療・福祉、交流・
体験、市民や地域団体等と
の連携、情報発信」等、さ
まざまな観点から検討を行つ
てきた。

今後については、新年度
予算編成作業を進める中で、
本市ならではの移住定住施
策を取りまとめていきたい
と考えている。

本市においては、高齢者
の運転免許の自主返納を促
す施策として、免許返納支
援事業が行われているが、
さらなる支援の拡充など、
交通事故防止対策を検討す
べきと考えるが、いかがか。

『その他の質問』 四項目



移住者が多い伊豆高原・城ヶ崎地区

高齢ドライバーによる交
通事故がふえていることか
ら、三月には改正道路交通
法が施行されるなど、高齢
者による交通事故防止対策
が進められている。

高齢ドライバーによる交
通事故がふえていることか
ら、三月には改正道路交通
法が施行されるなど、高齢
者による交通事故防止対策
が進められている。



シニアカーに乗る高齢者
(本文とは関係ありません)

本市においては、高齢者
の運転免許の自主返納を促
す施策として、免許返納支
援事業が行われているが、
さらなる支援の拡充など、
交通事故防止対策を検討す
べきと考えるが、いかがか。

『その他の質問』 三項目

シニアカー利用に係る交
通事故防止対策については、
交通安全協会や伊東警察署
など関係機関と連携し、利
用状況の把握に努めるとと
もに、安全な利用方法等に
ついて周知を図つていく。

『その他の質問』 三項目

市長
本市のイメージアップが図
られるとともに、宿泊者の
増加にも寄与している

全日本まくら投げ大会 1
n 伊東温泉は、市内高校生
が考案した「まくら投げ」の



第4回全日本まくら投げ大会in伊東温泉

今後は、参加チームの増
加に伴う大会会場や審判員、
スタッフの確保などの課題
を解消する中で、名実とも
に全日本としての大会を目
指していきたい。

『その他の質問』 三項目



日本共産党
佐藤龍彦議員

すすめ」を基本に、温泉情
緒を醸し出す浴衣の着用や、
戦略性を高めるために防御
専門の「リベロ」を採用す
るなど、観客も楽しむこと
ができるよう工夫している。
その結果、多くのメディ
アにも取り上げられ、本市
のイメージアップが図られ
るとともに、毎回参加チー
ムが増加し、前回からは予
選リーグと決勝トーナメン
トの二日間での開催とした
ことにより、宿泊者の増加
にも寄与している。

今後は、参加チームの増
加に伴う大会会場や審判員、
スタッフの確保などの課題
を解消する中で、名実とも
に全日本としての大会を目
指していきたい。

市議会だより

八幡野地区における、民間事業者による大規模太陽光発電施設の設置事業計画について伺う

太陽光発電の普及は、地球温暖化の観点から望ましいことではある。しかし、八幡野地域の山林における大規模な太陽光発電施設設置計画は、総面積四六・七ヘクタールに及ぶ森林の伐採や山の掘削等を伴うものであり、自然破壊や土砂災害等に対する住民の不安の声もある。設置区域の下には、住宅地だけでなく、幹線道路の国道、伊豆急行線もあり、災害が発生した場合の被害は甚大である。

また、設置区域の土砂が八幡野川等から海に流入した場合、漁業やダイビング等の地元産業にも影響することから、本事業計画に対する市長の考えを伺う。



杉本一彦議員
(会派に所属していない)



大規模太陽光発電施設（イメージ）
～川崎大規模太陽光発電所HPより～

森林伐採による斜面の安全性や、売電期間終了後ににおける施設の維持管理等の問題は認識しており、今後も、土地利用指導要綱による指導とともに法令を適切に運用する中で、本市の財産である自然景観の保全に努めています。

本事業は土地利用指導要綱に基づいた事前申請が平成二七年六月に提出され、約九五ヘクタールの土地において、四三メガワット程度を発電するための太陽光パネル約四七ヘクタールを設置するものである。

森林伐採による斜面の安

全性や、売電期間終了後に

度を発電するための太陽光

パネル約四七ヘクタールを

設置するものである。

土地利用指導要綱による指導や法令を適切に運用する中で、自然景観の保全に努めていきたい

市長

伊東市議会
ホームページの
ご案内



伊東市議会 検索

市議会では、市民の皆様に市議会の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。
主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひご覧ください。

- ◎市議会の仕組み
- ◎市議会の構成
- ◎市政の概要（全編版・抜粋版）
- ◎議会閉会中の活動状況
- ◎議長・副議長日程表
- ◎行政視察
- ◎いとう市議会だより
- ◎請願・陳情、決議・意見書とは？
- ◎市議会の傍聴を！
- ◎市議会図書室のご利用案内
- ◎市議会の情報公開請求
- ◎伊東市議会会議録検索システム
- ◎市議会インターネット中継放送
- ◎正副議長のごあいさつ
- ◎第18期伊東市議会議員名簿
- ◎歴代議長・副議長
- ◎定例会・臨時会

なお、直近の平成二八年一二月定例会の映像は、議員席側を撮影するカメラの故障により、議員側のみ固定カメラで固定的に議席全体を撮影しておりますので、ご了承願います。

※録画映像は公式記録ではありません。後日調製される会議録が公式記録です。

伊東市ホームページ
市議会インターネット中継放送

伊東市議会では、開かれた議会を目指し、本会議の録画映像をインターネットでご覧いただける取り組みをしております。会議の翌日から起算して、おおむね三開庁日後から視聴できます。

本会議録画映像を
インターネットで
視聴できます！

閉会中の議会活動

平成28年

※平成28年9月定例会閉会後、
平成28年12月定例会開会まで

- 10月 17日 議会報編集委員会
 11月 8~10日 常任観光建設委員会行政視察
 16~18日 常任総務委員会行政視察
 25日 議会運営委員会



FMなぎさステーションの収録の様子
(総務委員会・観光建設委員会)

3月定例会の予定

2月21日(火) 開会

※日程等は、2月中旬の議会運営委員会において正式に決定します。



会派の異動

●一月一四日 会派加入

山口 嘉昭 議員

(新) 正風改革クラブ
(旧) 会派に所属していない

FMなぎさステーションで行政視察報告について放送予定!!

76.3MHz

本市議会では、情報発信の新たな取り組みとして、常任委員会行政視察の報告をFMなぎさステーションで放送いたします。

まずは、一月に視察を実施した総務委員会及び観光建設委員会の委員長・副委員長が委員会を代表して、ラジオ収録に参加しました。常任委員会行政視察については、地元新聞や本紙でも記事を掲載しておりますが、議員の生の声でお伝えすることで、より身近で、開かれた議会を目指していきたいと思います。

※放送予定は、三月六、七、八日の午前七時三〇分、午後〇時一〇分、午後六時四〇分からです。

意見書提出を求める陳情の取り扱いについて

陳情のうち、持参による「意見書提出を求める陳情」を次のように取り扱っています。

提出期限

定例会告示日の前日の午前一〇時まで

取扱方法

定例会告示日翌日の議会運営委員会に提案

上記以外
定例会最終日前日の議会運営委員会
(協議・調整)

趣旨に賛同できないものや提出者において字句等の変更は認められないとするもの

一部賛成するも上程しないものと決定

全会一致・一部反対するも上程するものと決定

全議員に参考配付

最終本会議に議案として上程

なお、郵送によるものは、全議員に参考配付とします。

★意見書とは・・・
地方公共団体の公益にかかる事柄に関する、議会の議決に基づき議会としての意見や要望をまとめた文書で、国会または関係行政庁に提出できる。

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、2月中旬発行予定の12月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

総務委員会

問 伊東市営天城霊園の今後の整備計画について伺う。

答 今般、納骨堂や合葬墓など、墓地に対する考え方の変容について、報道等で取り上げられる機会がふえていることから、市民満足度調査において天城霊園に関する設問を設け、市民要望の把握に努めている。

調査結果では、明確な要望がない旨の回答が多かったが、今後は、計画期間の延長だけでなく、多様化する市民要望に柔軟に対応できるよう整備計画を検討していく。

問 ふるさと納税にかかる返礼品等の検討状況について伺う。

答 ふるさと納税、ふるさと伊東応援事業の推進業務にかかる一括の業務として募集をしたところ、企業8社の参加申し込みがあったことから、12月26日にプレゼンを実施し、平成29年4月1日からの運用を予定している。



ふるさと納税

観光建設委員会

問 平成28年度伊東市競輪事業特別会計補正予算について、補正する理由及び12月の記念競輪の目標額と全国の売上額の現状について伺う。

答 9月までのF1競輪等の車券の売り上げが好調であり、予算を上回ったことから、今後の記念競輪やナイト開催における売り上げ運動経費等に不足を生じるための増額補正である。

また、記念競輪の全国平均売上額は約55億円から56億円であるが、開催の日取りに恵まれていることから、目標額の60億円を達成するため、準備をしている。



伊東温泉競輪開設66周年記念競輪・表彰式

問 城ヶ崎海のジオサイト整備工事の内容について伺う。

答 富戸漁港付近の道のり面の防護ネット未施工箇所で落石が発生したため、ジオサイトの安全・安心のために防護ネットを張る工事である。

福祉文教委員会

問 地域密着型サービス、地域密着型介護予防サービスに関する条例改正に伴う利点を問う。

答 生活圏域に密着したサービスであり地域との連携がとれること、市が指定権限を持つことになり運営の透明性が増すこと、また地域包括ケアシステムの構築及びサービス基盤整備の面からも市がかかわる点である。

問 放課後児童クラブ開設事業費補助金の内容を問う。

答 富戸小学校区で、平成29年度から借家を利用して新たに開設する放課後児童クラブの開設準備費用である。

問 中学校屋内運動場照明設備LED化工事請負費の内容及びLED化未実施校について伺う。

答 宇佐美中学校体育館の水銀灯照明を、全てLEDに交換する。LED化未実施校は、南中、東小、大池小、南小、池小の5校であるが、順次LED化を進めたい。



屋内運動場のLED照明

池小



議場見学



大池小の皆さん
からの感想

【大池小 三年一組】

ぼくは、伊東市役所のぎ場は、はじめてですごくきれいでました。また、今度見に行きたいです。

ぎ場はとても広くてすごかったです。たくさんのイスでびっくりしました。行けたれしかったです。

【大池小 三年二組】

ぼくは、たくさんの人と話しあって、たくさん市の事などを決めてすごいと思いました。

【大池小 三年三組】

わたしは、ここで伊東市をよくするために会議をしていただいているんだなと思いました。

【大池小 三年三組】

ぎ場は広くてきれいなので、きっとえらい人たちがたくさん来て、大切な話し合いをしているんだと思いました。

ぎ場は伊東市のだいひょうの人が話し合うことや、どうしてイスがどんどん高くなっているかも知ることができたれしかったです。

大池小
1班



大池小
2班



常任委員会 行政視察概要

常任委員会では先進事例などの調査・研修のため、2泊3日の行政視察を実施しました。

詳細はホームページをごらんください。

なお、福祉文教委員会の行政視察は1月中旬に実施予定です。（平成29年1月5日現在）

総務委員会

11月16日～18日

11月16日

宮城県大崎市

【みやぎ大崎ふつふつ共和国シティプロモーション】

市全体を取りまとめ、魅力創造とブランドづくりを推進することで、同市の名称を全国へ情報発信するためのシティプロモーション事業について視察しました。



11月17日

宮城県女川町

NPO法人アスヘノキボウ 【お試し移住プログラム・創業本気プログラム】

「活動人口の増加」をキーワードに取り組まれている、同町とかかわるきっかけを創出するプログラム等について視察しました。



11月18日

宮城県石巻市

【地域再生計画】

内閣府から先進的プロジェクトとして地域活性化モデルケースに選定された、多機能を集約したコンパクトシティと包括ケアを組み合わせたまちづくりの計画について視察しました。



観光建設委員会

11月8日～10日

11月8日

山形県上山(かみのやま)市

【上山型温泉クアオルト事業】

ドイツのクアオルトを取り入れ、医学的根拠に基づくウォーキング法を柱にした健康保養地づくりを視察しました。

※「クアオルト」とは、ドイツ語で「療養地・健康保養地」の意味

11月9日

山形県山形市

【山形市中心市街地活性化基本計画・やまがた中心市街地ルネサンス構想】

大型商業施設の郊外進出等による中心市街地の空洞化対策や居住者減少への対策について視察しました。

11月10日

山形県東置賜郡高畠町

【熱中小学校プロジェクト】

廃校を大人の社会塾として復活させ、一流企業経営者等によるさまざまな分野の授業を行うことで起業家精神を育み、人材交流やテレワークの拠点とする事業を視察しました。

市議会に関する意見
「質問は議会事務局へ

議会報編集委員会
委員長 四戸清和
副委員長 佐藤敬彦
委員 井戸峰彦
佐藤彦子
原博司

この瞬間で、伊東代表は、自分なのだと認識を新たにする一瞬でした。

「全員、日本代表なのだ」という広告が目に入りました。観光客の皆様に心に残る体験を提供できるのは、ほかでもない伊東代表であり、日本代表である私たち自身なのだと認識を新たにする一瞬でした。

今号の表紙は伊東温泉を代表する景観の一つ、松川沿いです。周辺では、東海館を背景に記念撮影をしている観光客を多く見かけますが、この方々の情報発信力は非常に大きなものとなっています。伊東で過ごされた時間が、心に残るものとなつてほしいと願うばかりです。そのような折、OMOTENASHI（おもてなし）においては、「全員、日本代表なのだ」という広告が目に入りました。

編集後記